



高千穂学園武道場 大正2年に、ドイツ様式の最先端技術を用いて建てられた区内最古の木造学校建築物で、区の有形文化財です。見学は事前に電話予約が必要です。



大宮の杜緑地 和田堀特別緑地保全地区内の大宮八幡宮参道南側に、既存樹木を残して整備された緑地で、豊かなみどりの中を散策できます。



屋上庭園ふくにわ 井の頭線永福町駅の屋上につくられた開放的な庭園で、富士山から新宿副都心までの眺望が楽しめ、夜は杉並の夜景が見渡せます。



和泉熊野神社 旧和泉村の鎮守で、現在の社殿は文久3年(1863)の造営です。境内からは縄文時代以降の遺物が出土し、クロマツの大木もあります。



水道鋼管 地下に埋設されている水道管が井の頭線を跨ぐために、上下二段の直径2.4m(上)と1.8m(下)の水道鋼管として地上に露出しています。



永福町の寺町 この地区には多くの寺院が集まり静かな寺町のたたずまいを見せています。戦前に都心より移転してきて、戦災を受けその後再建されました。



大宮八幡宮 平安時代の創建で、23区内3番目の広大な境内を持ち、大宮という地名にもなりました。大宮八幡社叢は東京都の天然記念物です。



大圓寺 徳川家康が開基となって建立されたといわれ、明治41年(1908)に現在地に移転してきました。仁王尊をはじめ多くの石像があります。



龍光寺 本尊の薬師如来は平安時代末期の造立です。区内最大の梵鐘は大晦日につくことができ、境内にある八十八ヶ所和泉霊場は土日・祝日に開場します。



幻の山手急行線の遺構 戦前に山手線の外側に急行環状線をつくり明大前を通す計画がありました。写真左2線分の使用されていない空間がその遺構です。



築地本願寺和田堀廟所 築地本願寺は関東大震災で焼失し、墓地は陸軍省火薬所跡の当地に移されました。樋口一葉をはじめ有名な墓もあります。



永福寺 大永2年(1522)の開創と伝えられ、村名もこの寺名に由来しています。古文書や文化財を多く所蔵し、西門脇には石仏が祀られています。

まちを楽しく歩くために



- 交通ルールを守って安全に気を付けて歩きましょう。
- 車の多い道を渡るときは、遠回りになっても信号や横断歩道のある交差点で渡りましょう。
- 立入り禁止の場所や私有地・個人宅には、入らないようにしましょう。

●施設一覧 休館日及び受付時間は、各施設へお問合せください

1	永福和泉地域 区民センター	〒168-0063 和泉3-8-18 03-5300-9411
2	永福和泉区民事務所	〒168-0063 和泉3-8-18 永福和泉地域区民センター3階 03-5300-9310
3	下高井戸区民集会所	〒168-0073 下高井戸3-26-1 03-5374-6192
4	方南区民集会所	〒168-0062 方南1-27-8 03-3322-4225
5	方南会館	〒168-0063 和泉4-42-5 03-3311-4201
6	永福体育館	〒168-0064 永福1-7-6 03-3328-3146
7	永福図書館	〒168-0064 永福3-51-17 03-3322-7141
8	方南図書館	〒168-0062 方南1-51-2 03-5355-7100
9	下高井戸運動場	〒168-0073 下高井戸3-26-1 03-5374-6191
10	和田堀公園野球場	〒168-0061 大宮1-6
11	和田堀公園プール	〒168-0061 大宮2-2-10 03-3313-4455

●バス路線案内 主な路線をご案内しております

駅名	行先	主な経由地	系統	会社
西永福駅	新宿駅西口	笹塚駅	宿44	小田急
	高円寺駅	大宮八幡前	高45	関東
永福町駅	渋谷駅	代々木上原駅	渋68	京王
	高円寺駅	大宮八幡前	高45	関東
	新宿駅西口		宿33・44	京王 小田急
	佼成病院	方南町駅	永70・72	京王
方南町駅	中野駅	方南町駅	中71	京王
	阿佐ヶ谷駅		渋66	京王 都営
	渋谷駅	笹塚駅	渋66	京王 都営
	新宿駅西口		宿33	京王
	永福町駅	西永福	宿33 中71 永70・72	京王

杉並区役所 都市整備部みどり公園課

☎ 03-3312-2111

URL <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

© SUGINAMI CITY

2023.1 改版

知ろう歩こうみどりの都市すぎなみ

すぎなみ 景観 ある泉マップ

永福・和泉編

大宮八幡宮の大鳥居と大宮の杜緑地

この地域には上水や水道の遺構や施設が多くあります。その歴史や仕組みも知りましょう。

⑧ かんがえる

地域の豆知識

土地のなりたち



⑦ 神田川

注いでいます。神田川の両岸には狭い沖積低地があり、その先の台地には旧石器時代から古墳時代にいたる遺跡が散在しています。

地域の歴史

江戸幕府開府後徳川家康は、水道を引くため当時平川と呼ばれていた神田川を神田上水として整備しました。さらに水不足を解消するため承応2(1653)年に、羽村から四谷大木戸まで多摩川の水を流す玉川上水が開削されました。明治31(1898)年に淀橋浄水場が完成し、この⑩東京都水道局和泉水圧調整所玉川上水から導水されましたが、昭和40(1965)年の淀橋浄水場の廃止に伴い、不用になったこの地域の玉川上水はほとんど埋め立てられ、公園・緑道や道路の一部に姿を変えました。

この他、水道管が埋められている井ノ頭通り・荒玉水道道路があり、明大前駅・代田橋駅付近には、東京都水道局和泉給水所(工事中)・和泉水圧調整所、井の頭線を跨ぐ水道鋼管、玉川上水新水路跡(水道道路)など水道に関わる遺構や施設が多くあります。

みどり豊かな 住まいのみやこ

中面の地図の番号と照らし合わせてね。



調節池の見学は事前予約が必要です

神田川・環状七号線地下調節池の取水口 神田川中流域の洪水対策として、環七通りの地下約50mに約54万㎡の洪水を貯留できる調節池がつけられています。



方南銀座商店街 方南通りは新宿と井の頭線西永福駅を結ぶ都道ですが、環七通りとの交差点の方南町駅付近は賑やかな商店街になっています。



南門の外から見学できます

方南小学校のむさし野の森 PTA・教職員・地元住人の努力により、ホタルやカブトムシが棲むような、児童が自然と触れ合う環境が整えられています。



多数のマンホールのある水路跡歩道 この付近には水路を暗渠にした狭い歩道が続いており、非常に多くのマンホールの蓋が並んでいます。



史跡玉川上水 甲州街道から京王線南側までの150m程に、樹木に覆われた玉川上水の面影が残されており、この開渠部は国の史跡に指定されています。



東運寺 通称「釜寺」。山椒大夫に釜ゆでにされそうになった厨子王を身代り地藏尊が助けたという伝説から、本堂の屋根に釜が置かれています。



井の頭街道碑 現在の井ノ頭通りはかつて水道道路と呼ばれ、名称のないことを知った当時の首相近衛文磨が井の頭街道と名づけました。



玉川上水新水路跡(水道道路) 旧玉川上水に替えて、代田橋から旧淀橋浄水場まで新水路を構築しましたが、地震で破損したため廃止して道路となりました。

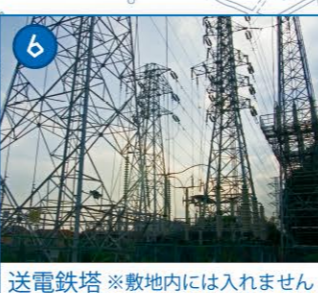


沖繩タウン 代田橋駅近くの和泉明店街の路地に、平成17年につくられた沖繩商店街です。うりずん祭り・かりゆし祭り・エイサーなども催されます。



ゆずり橋 稲田石とレンガタイルで飾られた歩行者専用橋で、子ども達のアイデアやデザインが多く採り入れられています。平成3年完成。

- ### 凡例
- モデルコース
 - 街路樹
 - 水路跡歩道
 - 文化財・記念碑・文化財案内板など
保育園・幼稚園・子供園など
 - 駐輪場
 - トイレ
 - バリアフリートイレ
 - 杉並区南北バス
すざびバス
 - その他の路線バス
- 杉並区と杉並区以外の地区では「だれでもトイレ」の規模・設備等が異なります。



西永福・方南町コース

西永福駅→理性寺→①高千穂学園武道場→②大宮八幡宮→③大宮の杜緑地→④大圓寺→⑤永福北ろ一丁→⑥送電鉄塔→⑦神田川→⑧かंगाえる→⑨地下調節池の取水口→⑩東運寺→⑪大山神社→多田神社→⑫方南銀座商店街→方南町駅 (4.7km 1時間30分)

永福一周コース

永福町駅→⑬ふくにわ→⑭永福北ろ一丁→⑮龍光寺→⑯和泉熊野神社→⑰貴船神社→⑱神田川→⑲杉並和泉学園付近の桜→⑳和泉水圧調整所→㉑井の頭街道碑→㉒幻の山手急行線の遺構→㉓水道鋼管→㉔築地本願寺和田堀廟所→㉕永福町の寺町→㉖永福寺→永福稲荷神社→永福町駅 (5.4km 1時間50分)

方南町・明大前コース

方南町駅→⑫方南銀座商店街→⑪大山神社→⑩東運寺→㉗方南小学校のむさし野の森→㉘玉川上水新水路跡→㉙水路跡歩道→㉚沖繩タウン→㉛史跡玉川上水→㉜ゆずり橋→和田堀給水所(工事中)→明大前駅 (4.2km 1時間20分)

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1064号)